

CSR活動における実績と目標

井関グループは、設定した重要課題と経営戦略・重要テーマに基づき、CSR推進各部門において実行計画と目標を設定し推進しています。進捗状況は、関連する会議体で経営層に報告・確認・評価を行っています。2017年度活動目標と実績および2018年度の目標の要約は次の通りです。

重要課題	ステークホルダー	経営戦略・重要テーマ	担当部門	主な会議体	2017年度目標 (抜粋)	2017年度実績 (抜粋)	2018年度目標 (抜粋)
お客さまに満足していただける商品・サービスの提供	お客さま	<ul style="list-style-type: none"> ▶国内農業構造（お客さまニーズ）の変化に対応した商品・サービスの提供 ▶海外のお客さまニーズに合わせた商品提供とサービスの向上 ▶技術力を活かした新たな価値を創造する商品の開発・提供 	営業本部 海外営業本部 開発製造本部	商品化会議 先端技術戦略会議 広報連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ▶「先端技術」「低価格」「野菜作関連」等のお客さまのニーズにこたえた機械の開発・提供 ▶夢ある農業総合研究所と各地域ブランチ展開による提案強化 ▶中国、アセアン向け新商品の開発・提供 ▶新しい技術による商品化 ▶知的財産の活用 ▶大型整備拠点の拡充とサービスマンの人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ▶19品目44型式発表 ▶直進アシストシステム搭載田植機等のスマート農機の投入 ▶夢ある農業総合研究所への視察人数：約7,000名（のべ人数） ▶営農指導・GAP指導：23件 ▶中国生産アセアン向け大型トラクタや汎用コンバインの投入 ▶特許出願の国内分野別登録数（その他特殊機械分野）第1位、特許査定率第1位（2017年公表） ▶大型機械向け研修実施：12回 	<ul style="list-style-type: none"> ▶「先端技術」「低価格」「野菜作関連」等のお客さまのニーズにこたえた機械の開発・提供 ▶夢ある農業総合研究所と各地域ブランチ展開による提案強化 ▶戦略パートナーとの提携強化による新市場への商品提供 ▶外部連携による新技術開発 ▶知的財産の活用 ▶サービス技能コンクール、サポート提案成果発表大会の開催
高品質かつ安全な商品・サービスの提供		<ul style="list-style-type: none"> ▶お客さまの信頼にこたえる高品質かつ安全・安心な商品・サービスの提供 					
ES（従業員満足）の向上	従業員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ES（従業員満足）の向上 	人事部	人材活性化委員会 経営監理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ▶開発、製造、販売・サービスにおける人材育成の強化 ▶女性活躍促進の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ▶各種研修受講数：のべ1,429名 ▶女性社員比率：18% 	<ul style="list-style-type: none"> ▶開発、製造、販売・サービスにおける人材育成の強化 ▶育児に関わる女性の働きやすさ向上（メンター制度導入など）
公平・公正な取引	取引先	<ul style="list-style-type: none"> ▶取引先との公平・公正な関係（取引先との協調） 	営業本部 海外営業本部 開発製造本部	広報連絡会 環境企画グループ会議	<ul style="list-style-type: none"> ▶各種説明会・勉強会等の実施 ▶グリーン調達への推進 	<ul style="list-style-type: none"> ▶国内製造所協力企業IRの開催：3回 ▶グリーン調達認定社数比率：76% 	<ul style="list-style-type: none"> ▶各種説明会・勉強会等の実施 ▶グリーン調達の推進
社会・地域社会における貢献	地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ▶社会および地域社会における貢献 	営業本部 海外営業本部 開発製造本部	広報連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ▶地域農業の成長・発展サポート ▶食と農業の啓蒙活動 	<ul style="list-style-type: none"> ▶農業女子セミナー開催：4回 ▶工場見学、ISEKI Dream Gallery 見学人数：9,455名 	<ul style="list-style-type: none"> ▶地域農業の成長・発展サポート ▶食と農業の啓蒙活動
持続可能な社会形成を可能にする環境保全	環境	<ul style="list-style-type: none"> ▶環境マネジメントの推進 ▶環境に配慮した事業活動、商品・サービスの提供 	開発製造本部	環境企画グループ会議	<ul style="list-style-type: none"> ▶環境に配慮した事業活動による環境負荷低減 ▶エコ商品の開発・提供 	<ul style="list-style-type: none"> ▶CO₂排出量：28,700t ▶国内エコ商品売上高比率：28.7% 	<ul style="list-style-type: none"> ▶環境に配慮した事業活動による環境負荷低減 ▶エコ商品の開発・提供
コーポレートガバナンスの充実	株主・投資家 マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ▶経営環境の変化への迅速かつ的確な対応と公正な経営の維持 	総合企画部	経営会議 広報連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ▶コーポレート・ガバナンスコード未取り組み事項への対応 ▶ステークホルダーとの対話充実 	<ul style="list-style-type: none"> ▶取締役会評価（アンケート）の実施 ▶IR・説明会の開催：4回 	<ul style="list-style-type: none"> ▶取締役会評価（アンケート）の結果対応 ▶個人投資家向け説明会開催
コンプライアンスの徹底		<ul style="list-style-type: none"> ▶コンプライアンスの推進 ▶公正取引への取り組み 	コンプライアンスチーム	経営監理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ▶コンプライアンスの重要性の周知徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ▶コンプライアンスに関するグループ内研修の実施：41回 	<ul style="list-style-type: none"> ▶コンプライアンスの重要性の周知徹底